

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年5月8日（月）

2 確認箇所

- ・5・6号機敷地護岸ヤード
- ・陳場沢川河口の北側護岸エリア

3 確認項目

多核種除去設備等処理水希釈放出設備及び関連施設設置工事の状況

4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）希釈放出設備設置に伴い、昨年8月4日からALPS処理水希釈放出設備及び関連施設設置工事が行われている。今回は、放水立坑（下流水槽）の下部から東に伸びる放水トンネルの工事の進捗状況を確認した。（図1、2）（前回確認：[令和5年4月13日](#)）

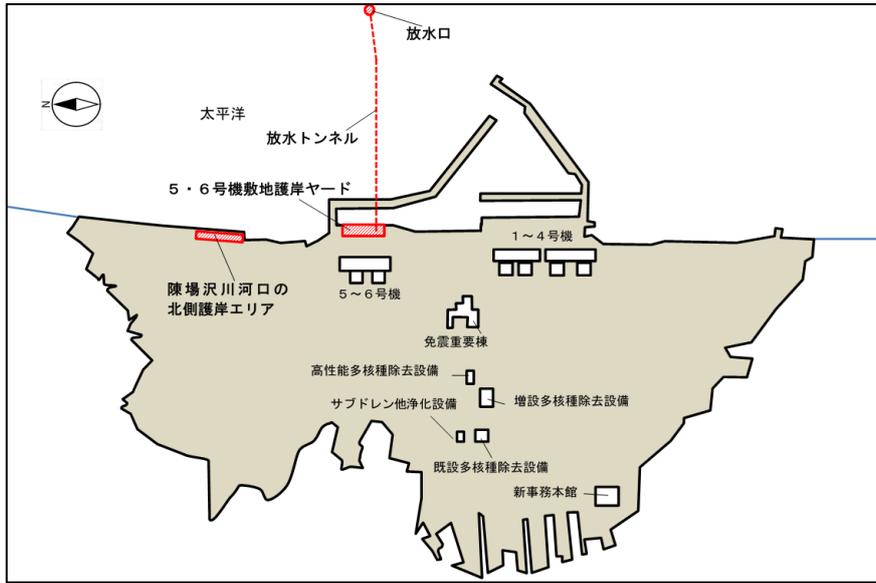
また、ALPS処理水希釈放出にあたり、5・6号機取水路開渠内の環境改善のために開渠内から撤去（浚渫）された土砂の仮置き状況について、陳場沢川河口の北側護岸エリアの状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和5年2月1日](#)）

<5・6号機敷地護岸ヤード>

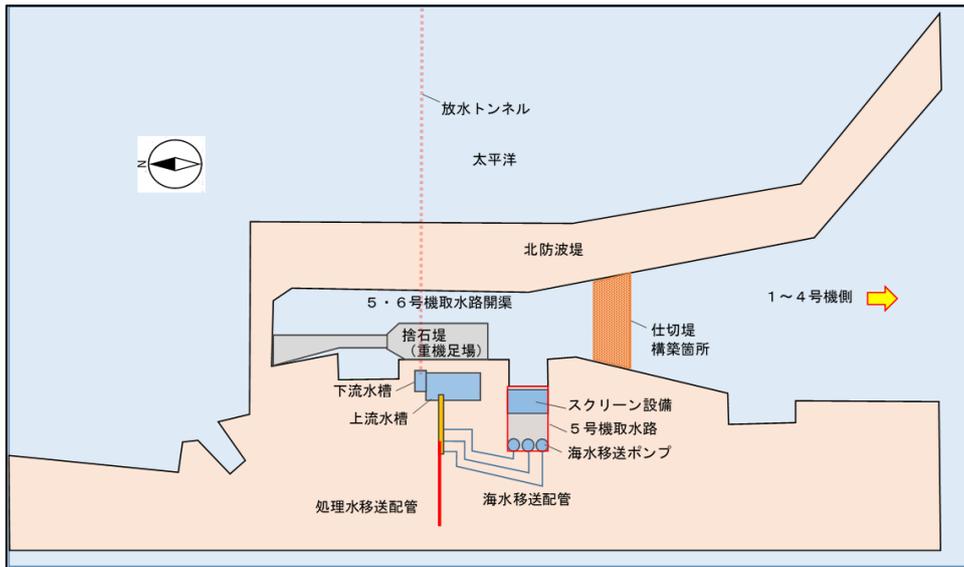
- ・掘進が完了しており、放水トンネルの末端でシールドマシンは停止していた。確認した範囲でトンネルを構成するセグメントに損傷や著しい浸水は見られなかった。（写真1）
- ・放水トンネル内では掘進作業に使用した資材等の片付けが進められていた。（写真2）
- ・東京電力では、今後、シールドマシン等トンネル内の掘進に使用した設備等撤去作業を行うとしており、シールドマシン撤去にあたり、鋼製セグメントの一部を開放して海上から吊り上げるため、トンネル先端部が海水に曝されることから、トンネル先端部の接合部に薬液や充填剤を注入して水みちを塞ぐ、鋼製セグメントの淵の部分に止水リングを設置するなどの止水工事を行うとしている。（写真3）

<陳場沢川河口の北側護岸エリア>

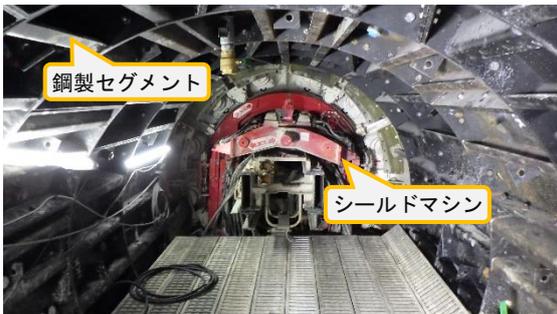
- ・エリア内は、目測で8割程度が浚渫土砂で占有されていた。当日及び前日は降雨があったが、確認した範囲で土砂の流出や飛散等は見られなかった。（写真4）



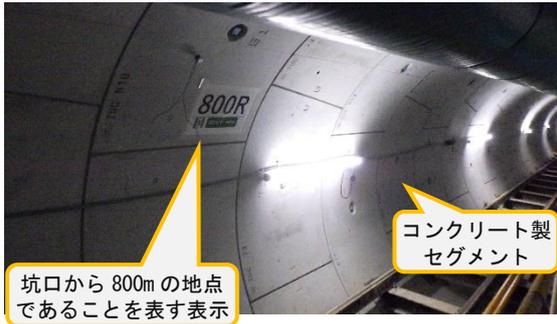
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 5・6号機敷地護岸ヤード付近の概要図



(写真1-1)
放水トンネル末端の状況①



(写真1-2)
放水トンネル内の状況



(写真2)
掘削作業で使用した設備等の状況



(写真3)
放水トンネル末端の状況②



(写真4)
浚渫された土砂の仮置き状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。